

日本色彩学会 関東支部 公開シンポジウム

「スライド作成における色彩とデザイン」より

各トピックのエッセンスの紹介

2021年4月 オンライン開催

「背景色と文字色の組み合わせと見やすさの関係」 齋藤大輔先生（中央学院大学）

「ゲシュタルト心理学からのデザインヒント」 名取和幸先生（日本色彩研究所）

「カラーユニバーサルデザイン」 市原恭代先生（工学院大学）

「スライド作成における照明」 岩井彌先生（パナソニック（株））

「見やすいスライドデザインの提案」 吉澤陽介先生（木更津工業高等専門学校）

「背景色と文字色の組み合わせと見やすさの関係」 齋藤大輔先生（中央学院大学）

見やすさの種類

誘目性：目につきやすさ

識別性：同じようなものが複数あるときのそれぞれの認識のしやすさ

明視性：図形が伝える意味の理解のしやすさ

視認性：探しているときの発見のしやすさ

可読性：文字や数字の読みやすさ

→コントラストが低下すると可読性は低下する

「視認性について」

- ・コントラストが低下すると視認性は低下するが、コントラストが大きすぎても視認性低下してしまう
- ・配色パターンによってもコントラストからの影響が異なるので注意

「可読性について」

- ・コントラストが低下すると可読性は低下する

ある程度コントラストを付けた配色を心掛け、背景のほうが前景(文字色)よりも輝度が高い色を選択すると読みやすくなる

「ゲシュタルト心理学からのデザインヒント」名取和幸先生（日本色彩研究所）

ゲシュタルトとは？

「要素や部分の集合ではなく、全体性をもったまとまりのある構造である」という考え方。つまり、複数の要素を何かしらの“まとまり”として捉える考え方。

ゲシュタルトにおけるまとまりの要因

1. 近接の要因：距離が近いものがまとまって見える
2. 類同の要因：色、形などが似ているものはまとまって見える
3. 併合の要因：閉じあうものはまとまって見える
4. よい連続の要因：つながりのよい線や形が認識されやすい
5. 面積の要因：面性が相対的に小さいものが図になりやすい
6. 対称性の要因：対称なものが図になりやすい
7. 共通運命の要因：おなじように動いたり、点滅するものはまとまりやすい

- ・空間的な配置(行間のスペースや字下)などを効果的に利用することで、まとまりをもたせて分かりやすく示すことが出来る
- ・色は特に「2. 類同の要因」や「6. 対称性の要因」、アニメーションを用いた「7. 共通運命の要因」などに取り込むことで、分かりやすく示すことが出来る

「カラーユニバーサルデザイン」市原恭代先生（工学院大学）

色覚特性とは？

遺伝子タイプの違いによって、様々な色覚の人が存在する。

多くの人は、S(短波長)、M(中波長)、L(長波長)の3つの錐体をもち、錐体細胞が色の情報を受け取ることによって多くの色を識別している。その一方で、色覚特性保持者の例を挙げると、「P型：1型2色覚」はL錐体がM錐体に一致し、「D型：2型2色覚」はM錐体がL錐体に一致してしまうため、色の見え方がそれぞれ異なる。

カラーユニバーサルデザイン

なるべく全ての人に情報がきちんと伝わるように、様々な色覚の人に配慮したデザイン

CUDO：Color Universal Design Organization などの HP も参照

http://www2.cudo.jp/wp/?page_id=134

「スライド作成における照明」岩井彌先生（パナソニック（株））

照明と色

照明の分光分布が異なると色の見えも異なる。

「同じ色」であっても、照明の影響で必ずしも同じように「見える」とは限らないので、スライドの挿絵や呈示用に物体を写真に撮る場合などは、どのような分光分布を持っている照明光源なのかをよく考える必要がある。

プロジェクターをスクリーンに投影した場合ほどではないが、ディスプレイやモニタに呈示した色についても、照明の影響を受ける。特に、低コントラストのモニタやディスプレイの場合には見づらくなる場合があるので、注意が必要。

「見やすいスライドデザインの提案」吉澤陽介先生（木更津工業高等専門学校）

スライドデザインのポイント

- ・ 目的に応じて様々なスライドがある
- ・ 対面(会場)で使用するスライドと、遠隔(オンライン)で使用するスライドは違いがある
- ・ 配布資料として使用するスライドなのか、プレゼンテーションのためのスライドなのか、等どのような用途で使用するのかで、デザインが異なる可能性がある
- ・ 文字による情報量を減らすことで、色やフォントによる情報の差別化の要素が活きる

「背景色・文字色」/「カラーユニバーサルデザイン」/「ゲシュタルト心理学」/「照明」などの各要素を効率的に取り込むことで、より良いスライドに出来る
「直感的」であることが重要！